夕刊
磐城新聞
九月三日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢（郵稅拾五錢）
廣告料 普通一行金六拾錢 特別一行金九拾錢 五號十二字詰一行一回（場所指定一行增）
編輯印刷兼發行人 福島縣石城郡平町田町十六番地 柏木一衛
發行所 磐城新聞合資會社
電信略號（タイライワキ） 平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

金成通氏に就て

△□生

（二）

然し磐東銀行の創立苦を嘗めた氏は、更に血の出る樣な守成の苦心をした。財界に倚る可き人なく、本當に一本立ちであつたから金融の逼迫に際しては自ら南船北馬して金を集め僅かに危險を免れる樣な事も昔はあつた。眠り得ぬ幾夜かがあつた。そして自ら創立した銀行を立派に育て上げ泰山の安きに置くに到つたのである。

視よ！其後銀行は年一年と積立金を增し今より七年前には創立二十週年記念として十一割配當をなし、自ら專務取締役を退いて平取締役となり、同時に資本金を五十萬圓に增額したが一錢の退職慰勞金すら貰つたと謂ふ事を聞かぬ。然し何と言つても磐東銀行の經營に成功した事は氏の信用を强め又其信用を基礎として第二、第三の仕事を爲す事が出來たと見るべきであらう。

明治四十一年地方主要産物たる莞蒻製造販賣、依託販賣乃至倉庫業の目的を以て資本金十萬圓の常磐物産株式會社（今の植田物産）を設立して監査役となり、四十二年常務取締役となり、翌四十三年九月常務取締役を辭して再び監査役と爲つた。

氏が先輩を尊敬し、同僚に厚く、正しき仕事なれば克く他人の事でも骨折ると謂ふ氣質は、こんな時代に不知不識の間に養はれ、遂に性と爲つたものであらう眞面目な努力！之が唯一の信條であつた。弱者は公平で貧者は正直なものだが弱者として貧者として公平と正直に仍つて僅かに其身を守る事が出來たのである。

青年實業家として手腕を認められた氏は明治四十四年九月、三十二歲にして推されて福島縣會議員となり大正二年十二月福島縣治會の幹事となり、同時に中央の實業界にも認められ、翌三年五月には千代田生命相互保險會社の評議員に當選した。

大正四年九月縣會議員改選に際しては衆望を負つて石城郡中最高點を以て再選せられた。此問に名譽職參事會員にも當選した。大正五年の改選に際しても豫選會は最高點を以て當選し、郡民は氏を三度議政壇上に送らんとしたにも拘らず氏は斷然として退き道を後輩に開いた。

二度迄も郡民の望を得、八年間に亘つて極力縣民の爲に盡悴した氏は、今や、心置き無く勇退したのである。功成つて永く名譽を獨占せず、之が武士氣質である。

大正八年四十歲にして資本金四十萬圓の植田電燈株式會社を創立し、先輩安島三郎氏社長の下に專務取締役として働き大正十一年四十三歲にして資本金百萬圓の植田水力電氣株式會社を創立して社長となり、植田電燈會社を買收し、其後菊田電氣、四時川電氣を合併して今や、資本金五百萬圓の植田水力電氣株式會社々長である。

。。。次回豫告 白木英尾氏の六號記事『比佐道太郎氏と金子堅太郎子』

社會の今日

○

山番に裸耐儀や菌狩 葉々子

山も嫌畑も嫌だと白粉に、したしむやうになつた娘ら 木工 善吉

9月4日 △大村益二郎刺さる（明治二）△始めて救世軍士官來る（同二八）△遼陽占領（同三八）△軍制改革案發表△松平駐英大使軍縮會議首席全權を受諾△米國社會黨首領ノルマン、トマス氏勞働爭議で投獄さる（昭和六）

磐城歌壇

吉川靜波

○今年また田植女が通るらし肩の菅笠白々とみゆ
○麥の穗のすでに黃ばみて丙々とかそけく搖ろゝ行く春風に
○深茂み下やのきばの敷石の五月雨にぬれ苔生え初めむ
○我が園のコスモスの花咲き初めし良き花みむとてい立てむとす

時代警語

○交友は信義を以て第一とすべし……（シェクスピア）……最初から假面を被ぎ、他を僞り顧みざる程の不信なる、不忠實なる交誼が何として永續し得らるべき。斯の如きは昨日の友は今日の敵となる如き愚を學ぶものである……

拈華微笑

奔騰！奔騰！。本當に結構な繭の奔騰

◇

米價再た下る。腹の空く季節に以て來い[illegible]向

◇

豐年萬作のアトへ今度は小作值下要求のニュース

◇

數へ子の歡迎會席上清野女子の眼底一點の淚光る。感激的場景

◇

心もとない明日曜の天候

童謠詩人 島田忠夫論

文學士 加藤輝雄

四

○木佛

千年經つた
木ん中に
木佛さまが
をり申す
儼ら長らく
木樵つて
いちど拜うだ
深山で
いつから霧の
深い朝
朴の花など
咲いてゐた
わしは正直
茂作だが
それから與に
なりやした

（昭和六年）

これら數編の島田忠夫氏の童謠詩を拔き來つて檢討してみても、いかにも氏の童謠詩は獨自のものであり巨石の重みを爲してゐる。吉江喬松博士が氏の作を評して『眼前に展開せらるる萬物の事象は、悉くこの詩人の興趣を形づくらないものはない。童謠詩としてはそれが大切な要素である。初めて眼を開いて山河に接するやうな淸新さである』と云つてゐるのも、この邊の消息を語るものでなければならぬ。又一面、島田氏の童謠は獨自性の色彩極めて鮮明なる故に、同好者以外には恐らく鼻もちのならぬ程きう屈な、云はば澁い意味のキザなものであらうかも知れぬ。それは全く强き氏の自信と、深い東洋的思想の顯現であらう。ある者には堅苦しく、目障りであらう氏の作品は、その內に藏する丈高き滋味と奧深き人間性、古俳味や萬葉調短歌の精神の新しき解釋に極めて少數の熱心なる支持者と愛好者を持つのである東大の寺田寅彦博士、佐藤孝二博士は最も深く氏の童謠詩に讃嘆の聲を洩らしてゐる、京大の天野貞祐教授もその一人である。かつて京大哲學科の學生にだけ十數人の熱愛者のゐたことを聞いてゐる。

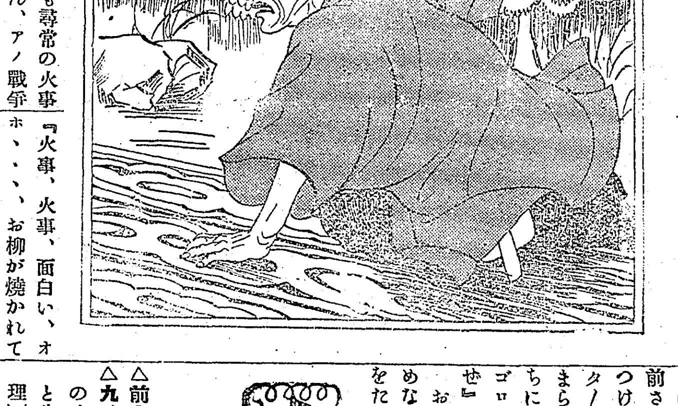
併て、童謠詩人島田忠夫氏はどんな生活をしてゐるか、氏は東京郊外の草居に今も獨身生活を續け自炊をし乍ら多くの若い愛好者の友となつてゐる。多くは古風な机に寄つて調物に餘念がない。會へば童謠詩に就いて熱情的に論じ、好き作を爲さむことのみを口にしてゐる。氏はいつまでも一箇の修業者であり若き童謠詩人である。そこに何とも云へぬ人間としての妙味、又は怪奇さが潛んでゐる。

講談 お蘭陀お蝶 (124)

渡邊默禪作 布施長春畵

兎も角も燒火箸をお吉の手からもぎ取つて、心の靜まるやうに慰めやうと努むるけれどもそれどころではない大事が他にあるのでお吉よりも自分の方が氣が顚倒し、早口に云ふ言葉もしどろもどろだつた、とお吉はぼうとした眼を擧げて

『婆や火事かい』



『はい、それも尋常の火事ではありません、アノ戰爭から出たんですとさ』

『え、戰爭？面白いね』

『なにを云つていらつしやる、戰爭が面白いといふ奴がありますか、それで今町中は大騷ぎ荷物を取片づけるやら老人小兒を連れて逃げるやら、大變なんでございますよ、生憎御隱居さまは今朝からお出ましであらつしやりませんし、主人さまは堺の方へ出かけて留守といふんでせう、內儀は今鳶頭に樣子を見届けにやつたら解る迄、騷ぐな〳〵と仰言るけれども是が騷かずに居られるもんですか、アラ遠くでわつ——といふ聲がするでせう、ボン〳〵と激しい音がしますねえ、アレ、愈々大きくなりそうだ、お嬢さま〳〵急いで退立の仕度をして置きませうよ、さあ〳〵大事な品を皆是へお出しなさいまし、一緒に風呂敷へ包んぢまいますから』

お各は立ち揚つて部屋のなかをぐる〳〵廻り初めた

『婆やい丶氣味だわね』

お吉は片膝立て丶座つたま丶襦袢の袖を手弄びながらにやり〳〵笑つてゐる

『え丶い丶氣味とは？』

『ソラ、此處にお柳が死んでゐるではないか』

『え？』

覺えずぞつとした

『槍で突かれて、オホ丶丶死んでるわ、そら其處だよ！』

『え丶』

『火事、火事、面白い、オホ丶丶、お柳が燒かれてるわ、オホ……そりやあたまの毛が燃れてゐるぢやないか、オホ丶丶丶』

笑いながら指なす方を見ると何時の間にか呪つた着物の片袖を千切つて例の火箸の尖に刺し貫いたのを火鉢の中に投げ込んでゐた。

お各はハツと思つた、其の眼、其の言葉、其の動作常のお吉ではない、紛れもなく發狂したのであつた

『お嬢さまつ——な、情けない、し、しつかりして下ださいよ、コレお嬢さま』

急に抱き着いて泣聲を絞つた折から勝手の方で呼ぶの[illegible]出入の鳶のものであつた

『一揆だ、一揆だ、天滿の先生、大鹽樣が頭分になつて謀反の旗揚げをしたんだとよ今天神橋でドンドン討合ひが押初まつてるが、今に此方へ押出して來るかも知れんせ』

『えつ！大鹽樣がつ！』

お吉の身体はブル〳〵と波打つた

高調子に語る鳶の聲が猶續いて聞える

『ねつ！たしかに見届けて來やしたんで怖いもの見たしでね、危ねえから止せ止せつて先方から逃げて來る奴にとめられたのだ、けれども、振り切つて火事ン場ところまで行つて見ると驚きましたね、威勢よく乘出して來るお侍はみんな拔刀具足を着けた者もありやきやはんはたすき掛けになつたのもありやす、それがお前さん、町の同心衆さへ見つけると退つかけ廻してバタ〳〵叩き斬るんだから堪まらねえ、そつちにもこつちにも十手を持つた死骸がゴロ〳〵轉がつてゐやしたせ』

お各は犇とお吉を抱きしめながら覺えず其の方へ耳をたてた

ラヂオ

四日…（日曜）… 仙臺 JOHK

△前九、〇〇A 氣象
△九、一〇 榮養料理（豆腐の味噌汁…主料理 人參と牛蒡の炒り煮…副料理）榮養研究所
△九、三〇B （子供の時間）た話（見ゐる眼見えぬ眼）醫學博士宇山安夫
△一〇、〇〇A 宗敎講話（人生と幸福）眞宗佛光寺派管長男爵澁谷隆敎
△一〇、四〇A 講演（北滿水災救護に就て）救濟中央委員會長公爵德川家達
△一一、一〇A 謠曲講座（謠の道しるべ）實演 櫻間金太郎 解說…池內信嘉
△正午A 時報 氣象
△後〇、三〇A ニュース （映畫の午後）
△〇、五〇A 放送映畫劇（不如歸）
△一、五〇C [illegible]物[illegible]（線の處女地）川井華水
△二、二〇A 運動競技（ミシガン大學對法政野球試合狀況）明治神宮外苑球場より中繼
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇A （子供の時間）手風琴獨奏 木暮正雄
△六、三〇A 講演（芬蘭土の話）郡司智麿
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇A 名曲鑑賞（淸元…御名殘押繪交張）忍頂寺務
△八、三〇A グリーク二十五年記念祭（一、管絃樂 二、ピアノ獨唱 三、獨唱 四、管絃樂）日本放送交響樂團
△九、三〇A 時報 ニュース 氣象 生繭相場

青訓聯合秋季演習

郡聯合青年訓練所秋季發火演習は時節柄昨年より規模を大にして機關銃數挺を增し出來るだけの計劃をたてて行ふべく七日役員會を開き決定する事になつた

。。。第一敎員野球。。。 平第一校職員は近日中會我球、武藤壘審判の下に第一回野球を行ふと

	投	捕	一	二	三	遊	左	中	右
奇	力丸	井上	上川	根本菊	根本榮	松本政	山口	坂內	中村
偶	藤田	橫田	小林	鈴木	古川	水竹	大谷	瓜田	大和田

。。。。青年團選手詮衡。。。。 郡青年團では明四日午前九時から來月二日縣大會へ出場する選手の正式決定をなすが武道各三名宛、陸上競技各種目一名、リレー四名で陸上は日曜毎に磐中で練習を開始すると

。。。。平商体育會報告。。。。 平商校では今三日午前十一時から過般行はれた体育大會出場各部の報告會を催した

磐中新級長

磐中一年生の正副級長は次の如く決定した

1遠藤赳夫、石田公俊 2山名光男、渡邊忠雄 3岡田軍治、志村懲助 4鈴木洋一郎、鈴木輝男 5北野正明、草刈建

。。。。。編入試驗合格。。。。。 磐中では昨二日午前九時から轉入生左記三名の試驗を執行したが何れも合格發表された

會中から二年根本正賢、日立中二年隈元國彥、保中一年矢野謙介

。。。。。第二校展覽會。。。。。 平第二小學校では今三日午前九時から休暇中の手工、書方、圖畫の兒童成績品展覽會を催した、五日朝會に賞狀授與の筈

。。。。。公民校始業式。。。。。 平商公民學校の開校式は五日午後七時から伏見町長、町議臨席擧行するが申込二十名程であると

。。。。。助成金交附打合。。。。。 田人組合、入上遠野各村の牧野改良助成金交附打合せ會は十日正午から上遠野役場で川前、永戶箕輪組合は十一日平町團体事務所樓上で開催縣から枝松技師が臨席する

。。。。。桑園整理協議。。。。。 郡農事關係筋では六日午前八時から平團体事務所で時局匡救策として政府助成の荒廢桑園整理改植協議會を開く

ラヂオ診療

◇郡下出張日割 仙臺放送局では聽取加入者へのサービスとして左記日時により郡下に技術者を出張せしめ故障受信機及部分品の檢査に應ずると △八日四倉町（和泉屋）△二十二、三日江名町（漁業組合）△二十四日赤井村（上平郵便局長宅）

藤沼醫院 平町紺屋町電五〇七

市原病院 院長 市原卯太郎 平町田町電一一四

木村醫院 平町六丁目 電話 三〇九番

前田醫院 院長 前田清美 植田町電話一二四

◎電話新設 二九八番
右新設致しましたから御利用願上ます。
有隣生命保險株式會社平城北代理店
東洋白土株式會社常磐一手販賣部
佐々木龍若 平町四軒町一八

芳醇銘酒
優等賞入選
白馬の雪
ハクバノユキ
石城酒造組合主催第十三回清酒唎酒會に於て三點とも最優等賞を得たり
平町二丁目一
白馬の雪營業所
辰の口本家 松本德一
電話〔五四六 二八五〕 本營業店

夜間診療
胃腸 梅毒
內科 十二指腸虫病 專門 內科部
痔病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

横濱植木株式會社特撰
草花、蔬菜類
優良種子
各種賣出し致しました。
農園藝やく品の御相談は
西村屋藥局 電三番

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關內藥局 電話四〇番

炭鑛から鐵道へ拂ふ 運賃年額約四千萬圓
之丈けで全線の動力代に餘る
値下げ要求の穩健な論據

地方大小炭鑛にとり最大唯一の延生策たる石炭運賃値下げ運動は地元選出代議士の熱心奔走により近來著しく好轉し近く何等かの吉報に接し得る機運に當面しつつあるが該問題に關し試みに炭鑛と鐵道との利害關係を見ると鐵道省は一ヶ年參百五拾萬噸內外（日本の産額の約一割二分）の石炭を年々市場より購入するので石炭業者にとり無二の大華需要者ではあるが鐵道省の側から見れば石炭は其最大の貨物であり石炭業者は其最要の華客である鐵道省が昭和六年一ヶ年に發送した全貨物六千〇七萬噸の內石炭は二千百十七萬噸に上り全貨物の三分の一强を占めてゐる、而して此石炭より收入する運賃は營業用竝に省自用炭分を併算すると多分三千五百萬圓乃至四千萬圓に近いものであらう、鐵道省が六年度に支拂つた石炭代金は約二千九百萬圓見當で此內日本內地炭に支拂つたものは二千八百萬圓見當と推せらる、即ち日本の國有鐵道は石炭の運輸によりて收得する運賃を以て自己所要の全動力代（石炭代）を支辨して尙ほ餘りあるのである、此外石炭業者に必要なる材料（坑木、機械、鐵材）坑夫の必需品米味噌其他の運賃と多額の收得がある、換言すれば我鐵道省は一錢の動力費を要せず唯單に鐵道線路費と人件費等丈で全國の旅客を運び二億六千萬圓の旅客運賃を收得し石炭以外の貨物約四千萬噸を輸送して一億五千萬圓外の收入を擧げて居る勘定となるのだ、夫れ故石炭業者は鐵道省の運賃は高過ぎるから大いに値下げして欲しいと主張するのは大なる理由があるので鐵道省の現在の石炭運賃は愈々不當であると云ふ結論に到達する

去月中を通じて 一萬七千噸減少
常磐炭山元發送高

去月二十一日以降三十一日迄の常磐炭山元發送高は
營業用三、四六九車　四〇、一六三噸
省用一、〇七〇車　一五、二六六噸
合計四、五六九車　五五、三八九噸
で從來永ら、減少の一途を辿つて來た昨今としては極めて珍しくも前年同期に比べ營業用七、二二三噸、省用六二五噸、合計七、八四八噸を增して居るが右は前年は此期間中二十八、九兩日が舊盆休みであつた關係で今後引續き增加の域に入るものとは想はれ無い、尙ほ去月中の合計一三七、一〇一噸は前年に比し一六、九三七噸（一日平均五五四噸强）の激減である

磐中野球部 全く整ふ 新陣容
近日中名コーチを迎へ 一層猛練習に精進

磐中野球部では時漸くスポーツシーズンに入つたので新陣容を立て直し昨二日より過般の東北大會豫選には遠野の爲に一敗地に塗れたが來年こそは甲子園だと猛練習を開始した外同校の大先輩たる吉田金作氏の斡旋でコーチを迎へ一段の馬力を掛ける筈で下山田捕、渡邊三壘、田中(純)右、戸井田中、大平左五名が來春卒業して終ふので一沫の淋しさはあるが新メンバーとて侮りがたく今でも双、相各中と伯仲の力を示し從來の投手杉浦が凄味のない所から捕手に廻しプレートを新進石坂に踏ませ四年六名、三年二名、二年三名、一年一名といふ新進潑溂振りを發揮してゐるがメンバー次の如し

投	4	石坂
捕	4	杉浦
1	4	田中
2	4	荻野
3	4	金成
遊	4	小井戸
左	3	由良
中	3	桃澤
右	1	秋山
(投補)	2	髙荻
(捕補)	2	阿部

磐女猛練習
晴の競技近づく

磐城高女では十一日の水戸遠征と廿三日安積高女の縣下競技大會を目指して夏休以來猛練習を積み飽迄必勝を期してゐるから最近の著しい進境振りに就いて排籠球コーチャー星野氏は語る
七月頃から見ると格段の上達でバレーは昨年相馬の爲に敗れ今年はその雪恥戰を相馬か福島を向ふに廻して大接戰を演ずるだらう、バスケットも技術の點は申分ないが体格が少し劣つてゐる、だが今の所昨年優勝の福師や福女と伯仲の成績である

地方繭市況 昨二日分
四倉の最高五十圓に近づく

昨二日の四倉繭市況左の如し
白貫數千四百六貫、最高四十八圓、最低三十六圓十錢、買馴四十二圓七十錢、掛目四十二。黄貫數三十二貫、最高三十九圓十錢、最低三十七圓、買馴三十八圓六十錢、掛目三十八

吉田の昨今早くも 小作料値下交渉
苞虫で減收豫想の勿來町

大浦、草野、大野、勿來地方水田五百五十餘町歩の稻苞虫は益々蔓延の惧れあるので農業關係筋では極力之が豫防撲滅に努めてゐるが前記四町村中比較的被害の輕少と觀られてゐる勿來町大字窪田部落の三十餘名すら之に因る減收を見越し昨二日午後一時から某所に會合小作料値下要求の決議をなし直に地主に交渉を開始する事となつたのでそれより被害の大きい爾餘の各村にも波動するではないかを憂慮されて居る

小名濱町 救濟事業
一萬八百圓を決議

小名濱町會は昨二日午後一時から開催失業者救濟事業として工費一萬八百圓を投じ全町を四區に分けて下水工事をなす一方諏訪町より西町に至る道路の改修工事を行ふ事になつた

滿洲行 藤田中尉
—第六十五信—

南嶺砲兵營の夜襲
◇然れ共兩大隊勇戰奮闘敢然前進を續行し一旦占據せる土地は尺寸と雖も退かない我が猛襲に怖れた敵の步兵は遂に抵抗を斷念したものの如く午後二時頃より漸次東方に退却を始めたのである、茲に於て步兵第四聯隊第二大隊は先づ西部敵兵に突入し獨立守備步兵第一大隊も亦敵に肉迫した
◇此の方面に　於て敵は或は血路を開かんため遂に兵舍外に現出して數回に亘り逆襲を試みたが之れをも驅逐し午後四時二十分頃步兵營を完全に占領するに至つたのである。後れて增援せられた公主嶺の騎兵第二聯隊は午後二時頃南嶺に到着し2A,3Aの掃蕩をなし野砲二十門を破壞し午後五時
◇完全に占領　したこの攻擊で破壞した大砲前後三十六門、砲彈約三萬發を爆破せしめた、夕刻南嶺兵營各所には火災起り黑煙天を焦し凄慘を極めたが同刻我軍には萬雷の如き凱歌が擧つたのである――我軍の損害戰死者四十三名、負傷者五十三名。
廢。墟。の。南。嶺。
◇南嶺は一帶　の丘地だ北方を指せば長春の市街は低く遙かの彼方に隱見する南嶺礮兵(砲兵)の唯一の目標だつたと言ふ、日本附屬地の水道タンクも高く空に聳えて見える、なる程支那皎兵が日本附屬地と我兵營攻擊のためには好適の目標だつたらうが之と相對せねばならなかつた運命にある
◇長春の我　部隊にとつてはこの位危險極まる代物はなかつたであらう。南嶺の兵營を攻略せねばならぬと豫想した時機先を制して先づ皎兵を夜襲し、これを奪取破壞すると云ふことは深く着意せねばならぬ戰術の一つだ、元より奇襲による外はあるまい、其夜其通り我軍は之れを屠つたのだ
◇南嶺の戰鬪　はこの時既に勝敗が決したものだと言つても差支なからう。その皎兵々舍は悉く無殘な殘骸となつて今は荒れ果てゝ野中に殘されてゐる、奇襲突入に驚いた敵は厩の中門を閉めようとした其處は兵營內に入るには是非通らねばならない所だ、先陣を承はつた
◇菊地小隊長　はその門を閉めようとする數名の敵兵を軍刀で斬りまくつた、怒濤の如く雪崩れ込む我軍に彼等は混亂し悲鳴をあげた、これが厩舍であれが彈藥庫の跡だ。と案內人は親切に說明して與れた。この丘地は營庭に接壞する練兵場以外はかなりな波狀地であり深い凹地もある。而して揚樹の並木が縱橫に伸び廣がつて居る。

愛國自動車 献納に奔走
植田出身の志田要三郎氏 現國情に發奮

植田町岩間出身で目下滿洲長春三笠町滯在中の志田要三郎氏が全國的有志の寄附により軍用自動車若干輛を獻納せんとする數年來の計劃は既に軍部の注視する處となり今や東京を中心に多數知名の應援を得目下全國的に趣旨を宣傳し寄附金の勸誘に全力を擧げてゐるが氏は去月中上京軍部と打合せの結果一層該運動の具体化を見るに至つたものの如く郷黨をはじめ氏を知るものをして今後の活躍を期待せしめてゐる
氏は少年時代植田郵便局の配達を振出しに星製藥に奉職中製藥に關する經營一切を會得し同社を退いて市內に合資組織の志田製藥會社を創設し自ら社長となつたが其後之れを他人に讓つて自動車販賣修繕業に轉じ極めて順調に營業中財界のパニックに遇ひ些か失意の境遇に入つた事がある
氏の愛國的精神は當時郷里に雌伏中多難の國情に刺戟されその胸奥に萠したものであると

四倉喜多會 素謡會

四倉町喜多會主催の素謡大會は來十一日正午より本町大倉裁縫女學校內に於て開催するが當日は補導役として宗家より上野八郎、伊藤千六兩氏が出席の筈

昨夜マルトモで 澁谷女史歡迎淸宴
終始感激の裡に無事了る

日赤福島支部救護看護婦好間村出身澁谷いと(三二)さんの歡迎會は既報の通り昨二日午後四時から平町マルトモホールで開催したが出席八十餘名、酒井町助役、大森日赤委員、多田井青年團長、曾我女子青年團長、藤田在郷軍人會長から縷々女史の功績を讚へた歡迎祝辭に對し女史は昨年十二月三月渡滿以來去月引き上げに至る迄鐵嶺病院に在つて戰傷病者實人員千八百十五名延人員三萬千百六十八名の看護に携はつた經過報告を加味して謙讓な謝辭があり最後に女史の出身校たる淸野産婆看護婦學校長が感激に滿ちた挨拶を述べて閉會別ホールの晩餐會に移り酒歡談極めてなごやかな氣分の裡に七時半閉會した

畜産技師 豚コ視察

農林省畜産局畜政課布村繁尾崎政寛兩技師は郡下の豚コレラ狀況視察のため今三日來郡平署土屋技手の案內で各方面を觀察し明四日歸京する

四家元訓導病む
敎へ子から見舞金

元平第二校訓導四家安男氏は病氣の爲八ヶ年の蓄財を盡したるも病勢は重る一方なので過般來縣回春園に入園加療中費用に窮し今三日津田第二校長の許に赤十字社依托患者として入園の手續を願ひ出たので同校では夫々取計ひ中であるが敎へ子からは見舞金を醵出慰問狀を送つたと

四倉漁港修築起工式
愈々來廿日擧行と決定 本格的準備に入る

四倉漁港修築起工式の期日並に諸準備打合せのため去る卅一日出縣した新妻町長は昨二日歸町したが起工式は愈々來二十日擧行する事に決定し夫々本格的の準備に着手した

再た米價下る 共同販賣の取引
前回より俵十九錢安

神谷村農會一日の米穀共同販賣は出荷合計百四十三俵四等俵當り七圓五十七錢で平町米穀商青木要次郞氏に落札したが去月二十五日の大浦農庫建値より十九錢安で一時持ち直した相場が中央に於ける米價問題の動きに支配された結果であると

勇進の餘罪
數件判明けふ送檢

小名濱町上町料理店鈴木ツメ方で六圓八十錢の無錢飲食をして平署に檢擧された平町胡摩澤一〇四居住勿來町窪田五六生れ菓子職赤津勇進(三三)は取調の結果本年五月中小名濱町西町菓子商國家堂に雇はれ中賣掛金三十圓を横領し尙ほ去月二十日平町立町菓子行商野口武夫所有自轉車を賣却した外數件の餘罪を自白し今三日送檢

柴田大浦校長作詞 新舞子小唄
地方色をふんだんに盛つて 誇るべき景勝を江湖に紹介す

大浦村では誇るべき景勝地新舞子を弘く江湖に紹介すべく豫て同村小學校長柴田正則氏の手によりて新舞子小唄を作成中の處此程左記の通り脱稿發表された

（磐城盆唄曲）

一、舞子乙姫ソレ、並木は縁り、變るまいものソラアレサ男松

二、松にお月様ソレ、砂原エンドウ、しのぶ二人にソラ、アレサつむ小花

三、添ふて送ればソレ、横川鶯、可愛い殿御のソラアレサ道しるべ

四、濱の千鳥はソレ、潮とき便り、招くよしの葉ソラ、アレサ月見草

五、拜す澤なソレ、舞子の堤に、情け江水にソラアレサ賣る草

六、舞子名物ソレ、大浦片帆、踊る小魚ソラ、アレサ垂る竿

七、初午に逢ふたはソレ、レンゲの花に、月の出る頃ソラ、アレサ霞む頃

八、おまいどこ行くソレ、ドライブ姿、わたしや[illegible]山ソラ、アレサお湯の中

九、白砂青松にソレ、赤沼勝地、むらさき日傘がソラアレサ縫ふて行く

十、照す燈臺ソレ、鹽屋が岬、戀しお方はソラ、アレサ鯛ツリに　（未完）

高女生 菊花栽培

磐城高女では今三日午前十一時から全校生により庭園の手入れをなしたが同校園藝部では目下四十名が一鉢宛菊の天崖仕立中で開花期には各教室に飾る筈今の處發育良好であると

榮轉警官出發

今回の縣下警察官異動で平署から榮轉する事となつた磯目、佐々木、佐藤、猪狩、柄本五氏は何れも明後五日午後八時五十一發磐越線で赴任する事となつた

菊田方部も 人氣活潑

植田、勿來兩繭市場は開場以來豫想外の好調を辿り既報の取り最高四十一二圓の高値を唱へ益々昂騰の氣配なるに加へ一般物價と共に豊收を見込まれて米價の騰貴も豫想されてゐる關係上苞虫の被害ある勿來を除く各村の農家には何れも活氣が滿ちてゐる

湯殿山例祭

平町字六間門月山出羽湯殿山神社秋期大祭は七日の宵祭から引續き八日午前十時より御山仕舞をなすが相馬猫八一座の出演始め煙火、奉納演藝等の餘興があると

。。。。。勿來關址刊行

勿來關守根本一男氏は今回關址に關する單行本を發行することになり目下各方面から資料蒐集中であると

平署扱犯件數

平署で去月中の犯罪檢擧件數は左の如く依然竊盜が第一位を占めてゐる
竊盜七四、詐欺一六、傷害七、賭博七、業務過傷二、横領三、其他一
尙之が被害金額は竊盜五百六十九圓九錢內發見百三十八圓五十錢、詐欺千九百八十四圓九十錢で昨年同期と比較すれば二割の增で不況に因る世相の險惡化を物語つてゐる

愛の結晶に 困る元女給

平町三丁目元カフエーバツカス女給田村郡二瀨村生れ丹谷ハナ(三七)は昨年八月來平町材木町鈴木正夫(三二)と愛の巣を營んで居たが七月中男が無斷上京其後何の消息もないのでハナは今四日臨月の腹を抱へて平署に保護方を願ひ出た

。。。。ラヂオ盜聽防止

平郵便局管內に於けるラヂオ加入申込は胡摩澤局で一手に引受けてゐるが去月中丈けで十一名の申込あり現在三百四十四名で料金は加入者約一割の滯納に過ぎず成績頗る良好であるが此の外盜聽も三十名餘りあり之等は罰金に相當するも極力加入を勸めてゐると

。。。。。留守宅で暴れる

當時住所不定無職郡山市生れ大越三郎(三八)は二日午後七時頃泥醉して平町七丁目志賀兵吉の留守宅に暴れ込んで平署員に檢束され目下取調べを受けてゐる

。。。。弄花三巴戰檢擧

平町久保町鈴木金一(三七)好間村南町田二三荷馬車挽小野昇(三六)同字跡鐵工宇野彌平(五
この三名は去月二十七日濱平方で才賭博を開張した事探知され昨二日平署に捕はれた

。。。。運轉手の正式裁判

平町才槌小路自動車運轉手佐藤正壽(三二)に係る業務上過失傷害の正式裁判は今三日午前十時から平區に開廷罰金二十圓の求刑あつた、言渡しは九日である

。。。。。電線を切斷さる

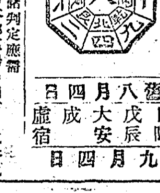
平營林署管內赤井嶽山林中の電話線百二十尺價格六圓分が昨二日夜何者にか切斷され不通になつので本日平署に訴へ出た

。。。。求刑通り判決

竊盜前科二犯山形縣西田川郡加茂町大崩內藤鶴吉(三五)は昨二日午後一時平區で上田檢事から一年六ケ月の求刑あり今三日竹內判事から求刑通り言渡された

平町慶弔錄

△出生
胡摩澤一二五西白河郡信夫村町屋六六金澤常次六男信男
舊城跡一一仙台市土橋通六二八谷弘四男つよし



曆　九月四日　日曜
八月四日　戊辰　大安　成　虚宿

諸判定所　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　氣力衰へて半途に倒れ再起覺束なき危險日▲二黑の人　萬事緩々と進めば安全なれど急げば蹉跌す▲三碧の人　勢に乘る時は急轉落を來たすことあるべし▲四綠の人　一家心を協せて家業に勵まるべし他事は凶▲五黃の人　成功を願はゞ急がざるに如かず飲食亦注意▲六白の人　信用を確保し人和深厚なれば益々向上發展▲七赤の人　心に鞭うち氣を引締めて努むれば願望叶ふ▲八白の人　喜憂交々至る半吉半凶の日旅行轉宅普請凶▲九紫の人　長上に逆らひ身の不安を招く日金談控へよ

難波醫院
內科 一般
醫學博士 難波睦
平町大町新川端(電話五〇二番)

吉田眼科病院
平町紺屋町